

共同コミュニケ(仮訳)

2018年12月6日

アジア原子力協力フォーラム(FNCA)の新たな役割に関する共同声明

我々、FNCA参加国であるオーストラリア連邦、バングラデシュ人民共和国、中華人民共和国、インドネシア共和国、日本、カザフスタン共和国、マレーシア、モンゴル国、フィリピン共和国、タイ王国及びベトナム社会主義共和国の代表は、

積極的な地域のパートナーシップを通じて、原子力技術の平和的で安全な利用を進め、社会・経済的発展を促進することがFNCAの目的であることを想起し、

放射線利用技術が、持続可能な農業発展と食品安全の分野に於いて、自然環境への影響を軽減しつつ、自然生態系の保全と加盟国の経済発展に寄与できる潜在的な能力を保持していることを、そのR&D結果をベースに認識しつつ、

加盟国の安全を確保するために、テロの脅威など、潜在的な攻撃に十分な対処ができる様、昨今注目されるサイバー攻撃に対してもろいとされる原子力施設のサイバーセキュリティを含む核セキュリティを早急に強化する必要性を認め、

アジア各国間に存在する放射線治療の状況格差を埋め、地域医療技術の一元的な発展に寄与するFNCA放射線治療プロジェクトの着実な進捗を評価し、

原子力導入や公衆の信頼構築に際して重要となる人材開発を、原子力を支えるインフラの一端として、その重要性を認め、

FNCAプロジェクトの着実な活動を評価し、2017年度 FNCA 賞受賞者の際立った功績を2016年度に引き続いて称え、

原子力に関する知識や経験をもたらす原子力に関連する国際機関であるIAEAやOECD/NEA、また米国のNRCや英国のBEIS等、特定国の関連機関との連携とを歓迎し、

2018年11月に開催されたIAEA原子力科学技術閣僚会議で宣言された、持続可能な開発の為の2030アジェンダの文脈において、持続可能な開発等の目標を達成する為の科学、技術及びイノベーションの重要な役割を認識し、

FNCAの主要な役割と活動である研究開発、知識・情報の共有と能力の構築が加盟国の社会的、経済的安定に寄与することに留意し、

以下の通り活動する事を決定した。

#### 1. 促進すべきテーマと活動

加盟国全般で優先度の高い、農業・食品安全、環境保全、健康に関連する原子力科学と技術の応用に関するプロジェクト、及び加盟国の普遍的関心事である核セキュリティ(サイバーセキュリティを含む)、核の安全と保全文化の為の人材育成に関わるテーマについて、既存テーマを一層促進するのみならず、加盟国が幅広く関心を持ち、持続可能な発展に寄与するテーマを将来的に採択する。

#### 2. 農業生産に関わるR&D成果の実用拡大

放射線育種、放射線加工・高分子改質 PJのR&D成果を、民間セクターを含めたエンドユーザーに、商業化の可能性も含めて利用させ、農業生産の拡大を通して、加盟国の社会・経済的安定に寄与させることを奨励する。

#### 3. 放射線治療に関わる支援と協力

研究・試験段階から実践段階への移行期にあり、また健康と医療の発展に焦点をあてた 2019 年以降の円卓討議のテーマ候補にある放射線治療について、加盟国にプロトコルの実践拡大とワークショップを通じた技量トレーニングの拡大を促す。

#### 4. 関連国際機関との協力

IAEAやOECD/NEA含む関連国際機関との連携を継続して促進する。OECD/NEAの協力を得て原子力の法的分野のテーマについての2017、2018スタディ・パネルを開催し、またIAEA関連機関である Joint FAO/IAEA Programmeとは本年度MLMの円卓討議を持続可能な農業をテーマに協力して行った。

#### 5. プロジェクト予算増加とリソース多様化

加盟国の関心を幅広くカバーしてより多くの新規プロジェクトを採択し、延いてはプロジェクト活動全体の更なる活性化を目指すために、加盟国に対して、各国の状況に応じた、新規採択プロジェクトに対する全体的、もしくは部分的な遂行資金協力、またプロジェクト成果の実用化にも鑑み、多様な形での資金協力の検討を

要請する。